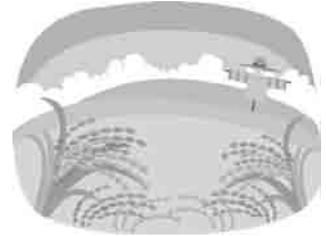


しまなみ農業だより ダイコンの栽培



します。1穴に3〜4粒をまき1センチほどの厚さに覆土します。

○間引き

よいものを収穫するため、間引きは子葉の形のよいものを残すように行いましょう。子葉が展開時、本葉1〜2枚、本葉5〜6枚の3回、子葉の形のよいものを残すようにして間引きを行い、最終的に1本立ちとします。

○病害虫防除

9〜10月にかけて、アブラムシ、シンクイムシ、ヨトウムシ、コナガ類が発生します。シルバーマルチや寒冷紗を使用すると、虫よけとともに土壌の水分保持ができ、雑草の抑制にもなります。

○収穫

ダイコンは成長した後、収穫が大幅に遅れると中心



部の繊維部分が発達して水分が無くなることで「す入り」になってしまいますので、適期に収穫しましょう。品種にもよりますが種まき後60〜100日ころから収穫できます。

○その他
キャベツなどのアブラナ科作物で問題となる「根こぶ病」が発生する畑では、同じアブラナ科のダイコンを「おとり作物」として利用できます。

根こぶ病菌はダイコンにも寄生しますがひげ根にしか寄生できず、増殖が抑制されます。根こぶ病菌が寄生したダイコンを収穫すれば、根こぶ病菌も畑から持ち出されることになりません。このダイコンは食べても害はありません。

根こぶ病菌を集められるのはダイコンの根のまわり10センチほどの範囲です。ダイコン収穫後の土を混ぜてしまうと効果半減です。ダイコンを収穫した穴にそのままの野菜苗を植え付けるのがポイントとなります。

○病害虫防除（農薬使用基準を厳守してください）

温州みかん・中晩柑

病害虫名	薬剤名	倍数	使用基準	
			みかん	中晩柑
黒点病	ジマンダイセン（水） 又はベンコゼブ（水）	600倍	30日/4回	90日/4回
	エムダイファー（水）	600倍	60日/2回	90日/2回
	黒点病（極早生）	ストロビードライフ フロアブル	2000倍	14日/3回
カイガラムシ類	スプラサイド乳剤40	1500倍	14日/4回	90日/4回
コナカイガラムシ類 ハマキムシ類	オリオン水和剤	1000倍	14日/5回	14日/5回
ミカンハダニ サビダニ	バリュースターフロアブル	2000倍	7日/1回	7日/1回
浮皮の軽減	セルバイン	300倍	—	—

レモン

病害虫名	薬剤名	倍数	使用基準
黒点病	ストロビードライフ フロアブル	2000倍	14日/3回
ミカンハダニ サビダニ	ダニエモンフロアブル	4000倍	7日/1回
チャノホコリダニ サビダニ	ハチハチフロアブル	2000倍	前日/2回

10月10日～10月20日 かんきつ管理

8〜9月のかんきつ管理

○施肥

中晩柑は樹勢の維持・回復や果実の肥大等を目的として、8月下旬に「ファイト」等を4袋程度、施用します。

○かん水

温州みかん：春葉が巻くようになれば、7日間

隔で5〜10^{リットル}/m²
甘平・デコポン・はるみ・ポンカン：常に乾燥しないよう敷草やポリマルチで土壌被覆します。2〜7日間隔で20〜30^{リットル}/m²
宮内伊予柑：土壌が乾燥する前に早めにかん水します。7〜10日間隔で10〜20^{リットル}/m²